



## 春の花壇整備が 全住区完了しました

### フォレスト住区

6月11日(日)フォレスト住区の花植えを実施しました。参加者は32名でした。心配していたお天気も、当日の朝まで小雨が残りましたが、9時ごろには曇天に変わりました。前日までに有志の方がプランターの古い花の撤去などの準備をされていたので、30分で終了しました。今年度から水やりは有志で実施することにしました。



### ステージ住区

例年より早い梅雨入りでしたが、天候にも恵まれ、ステージ住区では6月11日(日)に22名の参加者で春の花植えを実施しました。色の配置も考え、花壇やプランターへ植えまします。今年の夏も暑くなると予想されますので、綺麗な花が咲いてくれるように水やりを頑張ります！



### アリーナ住区

6月4日(日)に、アリーナ住区の花の植え替え・清掃を行いました。梅雨入りしたこともあり、空模様心配でしたが、幸いにも当日は、さわやかな良い天気になりました。花壇やプランターには、青色が涼しく感じられる「ブルーサルビア」、夏の花の代表ともいえる「インパチエンス」、暑さや乾燥に強い「ポーチユラカ」や「ジニアプロフュージョン」を植えました。可愛い花の成長を想像しつつ、会話を楽しみながらの作業は、心地よい時間でした。次回の植え替えは10月〜11月頃を予定しています。皆様、一緒に楽しみましょう。



## A.CITYの行事予定

7月 8日(土) 有価資源ごみ回収  
7月16日(日) 自治会定例役員会  
7月22日(土) 有価資源ごみ回収

7月24日(月)～28日(金) ラジオ体操  
7月29日(土) 大塚・伴南ふれあい祭り  
8月 6日(日) H&T管理組合理事会

# 子ども会とANCCで

## 「七夕会」開催

いつも子ども会活動へご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

6月25日(日)にプラザ大ホールにて、ANCCの会員様をお招きし「七夕会」を行いました。

当日は、まずは簡単な自己紹介を行い、その後、ANCCの皆さんと一緒に短冊にお願いごとを書き、天の川に見立てたセツトで釣りのゲームをして楽しみました。

そして、ANCCの方による七夕にまつわる紙芝居とクイズ大会！本格的な拍子木の合図を皮切りに、巧みな話芸に子ども達も参加した大人達もぐんぐんひきこまれていきました。

クイズでは、イラスト入りで七夕の風習についてわかりやすく楽しく学ばせていただくことができました。

その後、プラザロビーにて全員で短冊などの飾りつけを行い、楽しい交流のひと時を終えました。この日は、体験・見学の方にもお越しいただき、実の多い一日となりました。

今回はプラザロビー・タワーズイーストロビーのほか、一部住区のエントランス付近にも自由に短冊等を飾っていただけるよう、笹飾りを置かせて

いただきました。季節の行事を広く地域のみなさんと共有できることをうれしく思っています。

また、当日は、朝早くから自治会役員の皆さんに竹を切り出していただき、子どもたち用の手持ちサイズ分もご用意いただきました。

子どもたちに本物の竹に触れる機会をいただき、その贅沢さを改めて実感しております。本当にありがとうございます。

7月29日(土)は「大塚・伴南ふれあい祭り」子ども会ではくじ引きブース出店予定です。ぜひお立ち寄りください！また、ご入会のご検討も絶賛お待ちしております！



## 第25回大塚学区

## ミニテニス大会開催

新型コロナウイルスが第5類に引き下げられ、行動制限が緩和されてから初めての開催となりました。

その中でも今年は16名の参加申し込みがあり、A・C・T・Yで2チームを編成し、大会に参加しました。

声を出して応援したり、お昼ご飯と一緒に食べたりして、コロナ禍以前の活気のあるミニテニス大会が戻ってきました。

少し蒸し暑い中でしたが、皆が楽しく親睦を深めながら全力プレーを行ったことで、結果も5位と6位となり、去年よりひとつずつ順位を上げることができました。経験者・初心者関係なくひとつのチームで仲良く運動することの楽しさを改めて実感できた大会となりました。

次回は8月20日に親子三代ソフトバレーボール大会が予定されています。皆さん奮ってご参加ください。



気になったので調べてみたシリーズ

### 西風新都を知ろう③

## 大塚交差点渋滞編

(前号の続き) 大塚交差点の渋滞が、大塚や二丁地区の人口増加だけの問題ではなかったことを知った自治会広報部担当者。となると、この問題の解決には大塚・伴南地区だけではなく、ほかの地域の問題も解決していかなければならないのでは。

「まさにその通りです。」と伴・大塚地区「コミュニティ推進協議会」の方はうなずきます。「昨年のごとくですが、伴・大塚地区「コミュニティ推進協議会」は『伴・大塚地区まちづくりビジョン』を作成しました。(ご興味のある方は左記画像下のQRコードを読み取ってください。出典：広島市HP)」



←上記資料  
読み取り用  
QRコード

このビジョンは、まちづくりのコンサルタントと、伴・大塚地区の地域住民がワークショップや会議を重ね、見えてきた地域の問題を抽出したものがベースとなっています。

ここで打ち出しているビジョンは、インフラの整備から農業・林業の再興、教育に至るまで多岐にわたっている。こんな無理だよ、実現するわけがないよ、と思われる方もいるかもしれません。

ページをめくると、たしかに大塚交差点の渋滞問題をはじめ、様々な地域の課題や要望が網羅されています。すぐに解決できそうな課題はひとつもありません。素人目にも、膨大な時間とお金がかかりそうなプロジェクトばかりで、雲をつかむような全く実感のない話に困惑する自治会広報部担当者。

その様子を見た同協議会の方は、こう続けられました。

「まちづくりって政治と一緒に、何となく自分ごとじゃないんですよね。自分たちにできることなんてなさそうに見えるし、行政がそのうちどうにかしてくれると思っていて人が大半だと思えます。たしかに最後は行政になんとか予算をつけてもらわなくてはならないのですが、その予算をつけてもらうにも、地域が黙っていても一生予算はつきません。ひとつ身近な例をお話ししましょう。A. C. T. Y.の皆さんもよくご利用になっている広島4号線のトンネル

ルがありますね？車なら10分足らずで市街地に到着できる非常に利便性の高いルートです。あのトンネルは西風新都開発のために行政が指示して開通したと思っていまいませんか？」

そう尋ねられ、自治会広報部担当者はずなずくしかありません。そもそもトンネルを誰が開通させたかなんて考えたこともないのです。

「あのトンネルは、60年以上前に(旧)沼田町の地域住民から出た構想なのです。あの山に旧市内と沼田町をつなぐトンネルができれば、人の流れが変わり、沼田地区の発展に繋がると考えた人がいたんですよ。もちろんその当時の時代背景が追い風になったこともありですが、その構想を粘り強くこの伴・大塚地区の住民が広島市に訴え続けた結果、あのトンネルは開通したんです。」

A. C. T. Y.に住んで25年以上になるのに、全く知らなかった4号線トンネル開通秘話。60年前にトンネルの要望を出した方も「トンネルなんて無理だろう」と周りに思われたかもしれないが、30年もの月日をかけて実現した現在、私たちはその恩恵を受けているわけです。

同協議会の方の言葉は続きます。「この(旧)沼田町の住みやすい環境を維持し、より発展した街にしていけるには、行政に地域から発信し続けることが重要です。そのためには小さな町内会単位で発信するよりも、沼田地区がひとつになって発信するほうが効果的です。私たち伴・大塚地区「コミュニティ推進協議会」は、そのために存在しているといっても過言ではありません。より良い街を、次の世代に渡せるようにこの協議会を活用してもらえればと思います。」

大塚交差点の渋滞を調べてみることに始まった今回の企画でしたが、(旧)沼田町に住まわれている先人たちの感謝で胸が熱くなりました。

広島4号線については、「利用料がもっと安くならないか」「無料になったら最高」という声も聞きますが、思うだけではなく、自治会や町内会を通じて、伴・大塚「コミュニティ推進協議会」などの行政との橋渡しをしてきている団体に要望を伝え、連携して働きかけることが大事だと思いました。

自治会や町内会への加入も、次世代により良い環境を残すための小さな一歩だなど感じた今回の取材でした。伴・大塚地区「コミュニティ推進協議会」の皆様、ありがとうございました。

命を救う応急手当

梅雨明けが待ち遠しいこの頃です。そして、大雨による災害も心配な時期でもあります。私自身、これまでに幾度か災害の恐ろしさを感じる体験をしました。

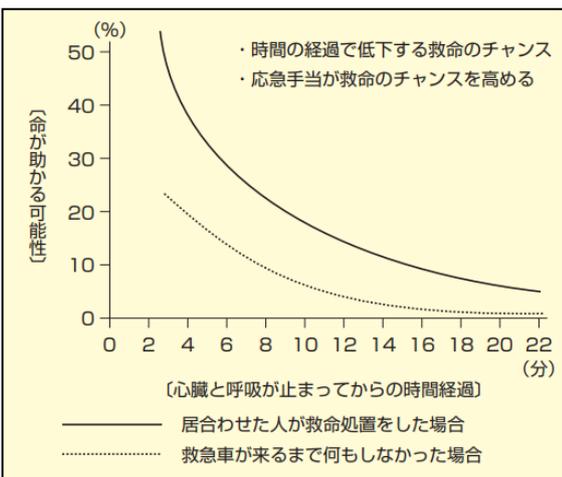
2014年、広島を襲った豪雨の際に、ボランティアで土砂撤去のお手伝いをさせていただき、被災された方々の大変さをほんの少し感じることができました。

2018年の西日本豪雨災害では、山陽自動車道の復旧工事に従事しました。関東など遠方からも支援に来ていただき、助け合うことの大切さを知りました。

最も心に焼き付いているのは、仕事仲間を災害で失った時のことです。

A・CITYに越して来る前、台湾新幹線の工事に携わっていました。トンネルの工事現場からの電話を事務所で見ました。「感電です！病院に向かっています！」直ぐに病院へ駆けつけましたが、彼は病院のベッドに横たわり心肺蘇生を受けていました。命の重さを教わることになりました。

去る6月4日のA・CITY防災訓練では、消火器訓練・起震車体験とAED訓練が行われ、応急手当の重要性を改めて感じる事ができました。



応急手当と救命曲線

その場に居合わせた「あなた」の応急手当で、傷病者の命を救える可能性が大きく高まります。第一に、助けを呼んで「胸骨圧迫」です。「人工呼吸」を合わせることも非常に有効です。



胸骨圧迫



人工呼吸

次に「AEDによる電気ショック」です。救急隊員が到着するまでに電気ショックを行った場合、社会復帰率は2倍になると言われています。



AEDによる電気ショック

A・CITY周辺では、次の3か所にAED装置が置かれています。

- ① タワーブイースト玄関内右側
- ② 大塚小学校内
- ③ メリィホスピタル西風新都内

私は、昨年9月に普通救命講習を受講し、応急手当を学びましたが、未だ身についてないことがよくわかりました。「いつか誰かの」お役に立てるよう、今後も機会を見つけて訓練を受けようと思えます。

広島市消防局でも、応急手当を含む救命講習が西消防署において毎月開催されているようです。身近な誰を救うことに繋がるかもしれません。興味のある方は、一度受講されてみてはいかがでしょうか。

(防災士/ステージ住区・浦田哲明)

夏休みラジオ体操

始まるよ！

日程 7月24日(月)～28日(金)  
8月21日(月)～25日(金)  
場所 プラザ 時計前広場  
時間 朝6時30分～  
どなたでも参加OK！高齢者いきいきポイント対象行事ですのでポイント手帳をお持ちください

大塚・伴南

ふれあい祭り開催！

日程 令和5年7月29日(土)  
場所 大塚小学校グラウンド  
時間 17時～21時(一部16時～)  
4年ぶりにお祭りが復活開催します！自治会員世帯には抽選券付きパンフレットを後日配布します。まだ加入されていない方は、この機会にぜひ自治会に加入しませんか？  
夏の思い出に、賑やかな舞台と美味しい屋台を楽しましよー

